



新潟教区報 第124号  
2019(平成31)年3月1日発行

## 新潟教区全戦没者追悼法要

### 第二十一回平和を誓う念仏者のつどい報告

社会実践部会員・与板組長明寺住職 前波有基

日時 平成三十年十二月十四日(金) 十三時三十分～十六時

会場 本願寺新潟別院(参加者六十六名)

テーマ 「戦災の現実に学ぶ」～長岡空襲の体験を通して～

講師 長岡戦災資料館 長岡空襲体験者「語り部」 山田文さん

二〇一八年十二月十四日に本願寺新潟別院において平和を誓う念仏者のつどいが開催されました。

全戦没者追悼法要の後に、長岡空襲体験者の山田文さんより「戦災の現実に学ぶ」をテーマとして、お話を聞かせていただきました。戦後七十年以上経過し、実際に空襲を体験された方が少なくなってきた現在において、戦争の悲惨さを聞かせていただけたとても貴重なご縁でした。

また同時に、非戦・平和に関するパネル展を開催いたしました。その中には、私たちの教団が積極的に戦争に協力していたパネルもありました。この事実を真摯に受け止め、浄土真宗のみ教えにであった私たちが歩んで行くべき道、同じ誤ちを二度と繰り返さないことを再確認させていただくつどいでありました。

## 「性的マイノリティー・LGBT」に関する学習会報告

社会実践部会員 与板組雲外寺門徒 清水茂（釋弘願）

日時 平成三十年十一月二十九日（木）十三時三十分～十六時三十分  
会場 本願寺新潟別院（参加者三十名）  
講師 新潟県高等学校教職員組合同和教育推進委員会委員長  
新潟県立新井高等学校教諭 新井久美子さん

LGBTとは何なのか？私は初めて聞く言葉でありました。社会の多様化のなかで、ようやくセクシャルマイノリティー（性的少数者）の方々の存在に目が向けられるようになったとことです。Lはレズビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシャル、Tはトランスジェンダーの頭文字であるそうです。これらは、出生時の性（身体的性）と性的指向だけで決めるような単純なものではなく、心の性（自分自身がどの性別だと思っているか）も踏まえて考えられるべきであります。無理矢理型にはめて人を分けるためのものでもありません。またそれは第三者・他人が勝手に決めてしまつては差別につながる恐れがあるとお聞きました。

私はまだこの事について深く考えた事はありませんでしたが、まず、何が問題となっているかを理解していく事が、第一歩の取り組みであると思います。

どこか遠いところの誰かの問題ではなく、周囲の身近な人、そして私たち自身の事として考えて行くことの必要性を感じました。

今後もし機会があるのであれば、話を聞き、ともに考えていきたいと思いました。



研修会の様子

## 第一連区 門徒総代研修大会（長野大会）へ参加して

元上組門徒総代会会長・元上組圓光寺門徒 池田昭治（釋法忍）

日時 平成三十年十二月六日（木）～七日（金）  
会場 ホテル国際21（新潟教区参加者十三名）  
テーマ 「お浄土からの問いかけ」～仏弟子としての名のり～  
講師 本願寺派布教使・同和教育振興会理事 小笠原 正仁さん

昨年十二月六・七日の両日にわたり、長野市内のホテルにおいて、長野教区担当による全国門徒総代会第一連区（北海道・東北・東京・長野・国府・新潟）研修大会が開催され、参加することができました。各教区総代並びに住職・僧侶等一七〇名が参加されました。本研修会の目的は、六つの教区の門徒総代会会員が結集し、門徒総代としての自覚を深め、教区間の連携を深め、総代会活動の課題を共有するとともに、活動の活性化と展開を期するということであり、また、今回のテーマは「お浄土からの問いかけ」～仏弟子としての名のり～（法名について）でありました。

一日目は班別の「話し合い法座」が持たれ、私たちの班の中で、既に帰敬式を受けられている方は、八名中三名のみであり、門徒総代の方々であっても生前に法名をいただいている方が少ないということには驚きました。受けていない方からは、「生前に法名をつける必要性がわからない」や「授かっても生前中の活用方法がわからない」等の様々な意見があり、まだまだ「法名」についての理解が不十分な状況であると感じました。

二日目は、各教区代表の方から活動内容の報告がありました。二日目の参加者が一〇〇名程度と大幅に減少した状況には、非常に残念な思いがいたしました。今回の研修会に参加して、「法名」が門徒として、更に仏弟子として生きていくための、自分自身のもう一つの名前・名のりであること、を理解し、生きているうちに「法名」をいただくことの意義を感じるとともに、そのよるこびをしっかり伝えていくことの重要性を学ぶことが出来たと思います。

次回（二〇二一年度）は国府教区の担当にて開催が予定されており、次回は新潟教区からも多数のご参加を期待いたします。



開会式の様子

# 法話 「和顔愛語」

元上組圓光寺住職 長尾 正博

本願寺の門表の看板にこの言葉が掲示されています。『大無量寿經』にある言葉で穏やかな笑顔と優しい言葉で人と接しましょう。ということですが、これが簡単なようでとても難しい事です。

宝塚歌劇団の舞台裏に「ブスの二十五箇条」という伝説の教えが貼られていると聞いたことがあります。「ブス」という言葉は侮蔑的な俗語なので如何かと思いますが・・・。その中身は「笑顔がない・お礼を言わない・おもしろいと言わない・グチをこぼす・いつも周囲が悪いと思っている・他人にシットする・責任転嫁がうまい・他人をうらむ・他人を信じない・謙虚さがなくゴウマンである・自分が最も正しいと信じている・・・」と言ったように、内面や他人に対する態度についてのものがほとんどです。

さて、これらに一つも当てはまらないようにできるでしょうか。少しの間できたとしても、ずっとそのままでは難しいでしょう。腹が立てば笑顔になれず、人を傷つける言葉を投げかけたりもします。逆に誰かの笑顔につられて自然と笑顔になる事も、優しくできることもあるでしょう。

阿弥陀さまのおはたらきの一つに、「阿弥陀さまの光に触れた者は、身も心も柔らかくなる」とされるものがあります。阿弥陀さまの光は、絶えず沸き起こってくる私の欲と怒りとおろかさ、絶えずはたらきかけて下さいます。阿弥陀さまの光によって、絶えず煩悩の沸き起こる私の身に、やさしい言葉と穏やかな笑顔・・・和顔愛語がもたらされるのです。

笑顔は他人も私も不快な気持ちにさせず、血流も良くなり、ストレスの軽減にもつながるそうです。今日一日「和顔愛語」でスタートを切りましょう。



# 平成三十年度連研のための研究会を受講して

研修部会委員 元上組託念寺門徒 岸 和義

日時 平成三十年十二月五日(水)十三時三十分～十六時三十分  
会場 本願寺新瀉別院(参加者三十名)  
テーマ 魅力ある連研実施のためには?  
講師 連研中央講師・岐阜教区飛騨組神通寺住職 朝戸 臣統たかづなさん

今年度の研究会は岐阜教区から連研中央講師の朝戸臣統さんをお迎えし、三十名の参加の中開催された。講師より、岐阜教区十四組の四年分の連研運営実態データの紹介(配布)があった事は、連研が全国でどの様に展開されているかの一端を知る有益な情報提供であった。

また、私にとって新鮮だったのは、「話し合い法座」の原点は「御文章」の輪読会(学習会)であった事であり、あくまでも御文章をどう味わったかを話し合う所から来ているとの講師のお話であった。現在の連研ノートを元にした連研も良いが、いにしえの話し合い法座を想像し、それも良いなど感じた。

研修を通じて感じた事は、何事もマンネリ化する傾向にある中で、連研スタッフは基本を抑えながら、マンネリ打破のための新機軸を打ち出さなければならぬと言いう事だ。連研をどうするか、というテーマについて話し合う機会を重ねたものだ。



各班での話し合いの様子

# 寺院巡り 元上組 善行寺

住所 長岡市十日町三四一七番地  
電話 〇二五八―二二―二四一六

元上組の善行寺は、長岡市と小千谷市の狭間に位置しています。長岡市誌編纂資料には、「とある場より妙見村に一寺を建立。慶長五年（一六〇〇年）に浄慶という方が開基」とあります。延宝三年（一六七五年）に再び上條善行寺として移転し、現在の位置にとどまりました。

その間には、本堂消失二回、住職の苗字を改姓することもあったようです。それでも飯塚の明鏡寺様から五人の方に入っていたいたり、ご縁ある方々、ご門徒の皆様の篤い思いによって支えていただき今日に至っています。

現在の本堂は、平成十年に落慶法要のご縁をいただき中越地震に耐えた本堂であります。

存在感ある坊守と体重十六kgの番犬小夏に後押しされながら住職は頑張っています。どうぞよろしかったら、お立ち寄りください。



## 今後の予定

### ・「貧困問題」に関する学習会

日時 三月八日（金）十三時三十分～十六時三十分  
テーマ 「貧困の実態について」  
講師 小池 由佳さん（新潟県立大学人間生活学部子ども学科教授）  
・若い女性開法の集い

日時 三月十日（日）九時三十分～十一時三十分（初参式は十一時から）  
テーマ 「初参式って知っていますか？初めの一步はお寺から」

講師 長井 順一さん（本願寺派布教使・国府教区米山組浄善寺住職）

### ・真宗教団連合新潟県支部公開講演会

日時 三月十二日（火）十四時～十六時三十分  
会場 セレモニーホール飛燕

テーマ 「おかげさまのどまんなか」  
講師 吉田 譲さん（真宗仏光寺派宗務部部长）

### ・どんとこいフェスタ

日時 三月二十四日（日）十五時十五分～十八時三十分  
内容 法話・イベント・夕食交流会等

### ・原発問題に関する研修会

日時 三月二十五日（月）十三時三十分  
テーマ 「原発再稼働に見る問題点」  
講師 桑原 三恵さん（いのち・原発を考える新潟女性の会代表）

### ・定期教区会

日時 三月二十九日（金）十四時～

### ・新潟別院公開講座 みんなで学ぶ「歎異抄」

日時 五月七日（火）十四時～

講師 清水 正朋さん（本願寺派輔教・与板組光源寺住職）

### ・仏教壮年会連盟研修総会

日時 五月二十六日（日）

講師 眞谷 誠祐さん（新潟組林徳寺住職）

### ・仏教婦人会連盟研修総会

日時 五月三十日（木）十時二十分～十五時

講師 三宮 亨信さん（仏教婦人会総連盟講師・滋賀教区滋賀組正源寺住職）

### ・本願寺新潟別院御取越報恩講

日時 六月二十五日（火）～二十七日（木）  
講師 熊原 博文さん（本願寺派布教使・東京教区埼玉組正善寺住職）

## ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 八〇・七 毎週月曜～金曜 十六時十五分よりの放送中です。  
（放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附）

編集／浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会  
〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内  
TEL: 〇二五八七―二二二〇 FAX: 〇二五八七―二二五三六